

平成25年度 堺市障害者自立支援協議会 第12回 障害当事者部会 議事概要

日時	平成26年3月26日(水) 14:00~16:00
場所	堺市総合福祉会館 5階 第2研修室
出席者 (敬称略)	茅原、白石、帛田、野崎、佐野、松本、丸野、梅田、前田、三田
欠席者 (敬称略)	岸本、川淵、谷口、吉村
支援者	ボランティア1名
事務局	【堺市障害施策推進課】八木、大塚、杉本
事務局補助	【総合相談情報センター】黒木、田淵、上田
傍聴	11名

● 次期委員についての連絡事項

【事務局から】

- ・次期委員の公募について、3/13(木)に面接を実施した結果、資料のとおり選考された。
- ・委員への就任は4月からとなるが、本日、部会の見学という形で来られているので、簡単な自己紹介をお願いしたい。
- ⇒新任委員から自己紹介。

● 今年度のまとめについて

【部会長から】

- ・部会長案として資料のとおり作成したので、追加、修正等をお願いしたい。
- ・この「まとめ」については、次回(4月)の部会においても引き続き議論した上で内容を確定し、5月に予定されている自立支援協議会(本会)に提出することとなる。
- ・(資料に沿って説明)

【意見交換】

- ・7つ目の項目として記載されている「次年度の取組みについて」の中で、部会の周知のためのパンフレットを作成するという提案がなされているが、これについては是非、進めていきたい。
- ⇒インターネットを使う人は部会のブログを見ることもできるが、使わない人もいるので、紙ベースのパンフレットやリーフレットを作成し、もっと知ってもらおうということは重要。
- ⇒例えば、区の協議会で作成しているリーフレットは区内の作業所等に置いてもらっている。
- ⇒周知先を考える場合、「誰に知ってもらおうか」ということが重要であるが、一番知ってもらいたいのは当事者なので、行政窓口よりも、やはり地域活動支援センターや作業所等に置いてもらうのがよいと思う。また、それに加えて、この12名の委員が「部会の顔」であることから、委員自身の手でいろんな人に渡していくのが一番の啓発になるのではないかな。そういう意味では、部会の名刺を作成し、会う人にどんどん配っていくという方法もある。

- ・2つ目の項目として記載されている「地域活動支援センターとの交流会の実施」の中の文言について、一部修正意見あり。
⇒次回までに事務局において修正を行うこととする。

● 来年度の活動内容について

【事務局から】

- ・先日、市の選挙管理委員会事務局から「投票所のあり方について部会の皆さんのご意見をいただきたい」との依頼があり、来年度において資料のとおり、5月と9月の部会の中でそれぞれ60分程度の時間を確保していただければ。
⇒来年度の活動内容については次回（4月）の部会でも引き続き議論することとなるが、このことも踏まえて検討していくこととする。

【部会長から】

- ・「当事者交流会」については、部会委員からだけでなく参加者からも「継続して実施してほしい」との声をいただいております、来年度も実施する方向でよいと思うので、早めに会場を確保しておくため、できれば本日の段階で日程を決定したいと考えています。
⇒【事務局補助から】前は土曜日に開催したが、4月から市民会館が建て替えにより利用できなくなることの影響もあり、現在、特に土曜日については、市内における会場確保が難しい状況となっている。
⇒【事務局から】昨年8月の「地域活動支援センターとの交流会」と同様に、部会の開催日（第4水曜日）を使って開催する方法もある。
⇒部会の開催日のうち、会場が確保できた日に開催することとする。

【意見交換】

- ・市の「障害者長期計画」や「障害福祉計画」について話し合う場も必要。
- ・障害のある人が住みやすく、支援を受けながら自分らしく生活ができるような地域にしていくための手助けができれば。
- ・様々な問題があるが、解決に向けた動きを少しずつでも進めていきたい。
- ・障害のある人が暮らしやすく、自分の夢がかなえられるような社会をつくる一助になればという思いで応募したが、今後もそのときの気持ちを大切にしながら議論していきたい。
- ・意見を言うだけでなく、何らかの結果が残せるよう、少しでも力になれば。
- ・日々の支援を受ける中で、事業者のレベルも様々であると実感している。また、自立した生活を送りたいが、どのようにサービスを利用していけばよいか分からないという人もいます。そういった現状を変えていくにはどうすればよいか、皆で考えていきたい。
- ・年数を重ねる中で、部会の果たす役割もはっきりしてきた。また、行政や支援者に相対する新しい形のようなものを、この部会がもたらしてきたのではないかと考えており、今後もそういったことを突き詰めていきたい。
- ・これまではあまり話題になっていないが、医療と福祉の連携についても考えていければ。
- ・まだまだ障害者が理解されていないと思うことも多いが、忍耐力を持って、支援者を自分で育てていくという視点でかかわっていきたい。
- ・バリアフリーを進めていきたいという思いから応募したが、まだまだ進んでいない。駅の無人化の

問題についても、エレベータを設置したからといって駅員が要らなくなるわけではない。今後も当事者側から発信していくことが必要であるが、どのようにして発信するか、そのツールについて皆で考えていければ。

- ・病院へのバスの本数が減って困っている。
- ・介護保険の場合はケアマネジャーがヘルパー事業者との間に入ってくれるが、障害福祉サービスの場合はそういう人がいないので、何か苦情があっても直接、ヘルパー事業者に言うしかなく、結局は何も言えずに我慢することになってしまう。
- ・市長との懇談の場を設けるといふ企画については是非、実現したい。

● **ブログについて**

- ・ブログの画面をプロジェクターで映し、確認。
- ・前回確認した時点から追加された記事は1件。

● **次回 障害当事者部会**

- ・4月23日（水）14：00～16：00 消費生活センター研修室（堺富士ビル6階）